

副 本

平成19年(ワ)第24572号 損害賠償請求事件

原告 株式会社フージャースコーポレーション

被告 青木 修 外2名

訴えの変更申立書

平成21年2月24日

東京地方裁判所 民事第4部合議係 御中

原告訴訟代理人

弁護士 中久保 満



同 塩田 大



第1 訴えの追加的変更

- 1 原告は、被告青木憲子に対し、下記の請求を追加する。

記

被告青木憲子は、原告に対し、金500万円及びこれに対する平成20年8月18日から支払済みまで年5分の割合による金員を支払え。

との判決並びに仮執行の宣言を求める。

- 2 原告は、被告青木修に対し、下記の請求を追加する。

記

被告青木修は、原告に対し、金500万円及びこれに対する平成21年2月7日から支払済みまで年5分の割合による金員を支払え。

との判決並びに仮執行の宣言を求める。

第2 追加的変更の理由

原告は、平成20年8月より、訴状別紙物件目録2記載の建物（以下「本件建物」という。）の販売活動を開始し、現在も販売活動中である。

ところが、これに対し、被告青木修（以下「被告修」という。）及び被告青木憲子（以下「被告憲子」という。）を始めとする「守る会」のメンバー数名が、本件建物敷地周辺において、本件建物を見学に来た顧客に虚偽の事実を告知したり、あるいは威圧するなどの方法により、原告の営業活動に対する妨害行為を繰り返している。

そこで、そのうちの違法性が顕著な以下の2例について、訴えの追加的変更を行う。

1 被告青木憲子に対する訴えの追加的変更の理由（前記第1. 1について）

(1) 平成20年8月18日、被告憲子は、本件建物敷地の東側出入口付近において、本件建物を見学に来た顧客に対し、

「わたしたちは、今こうやって見張っていて、シャブコンだとか。」

「シャブコンって、雨の日のくい打ちだとか、みんな雨の日にやっているんで、それで、申し上げてはいるんですけども、その答は返ってこないで、大丈夫だって言うんですよ。」

（甲18の1／録音CD： 00:04:45）

（甲18の2／反訳： 4頁）

「それで、シャブコンもやっているんですよ。」

（甲19の1／録音CD： 00:04:10）

（甲19の2／反訳： 4頁）

「シャブコンって雨の日に、雨水・・・あるでしょう。鉄筋に、雨の日

に鉄筋打ったら、それこそ、その入る雨量がシャブコンということは、何ていうのかな、要するに強度っていうの。」

（甲19の1／録音CD： 00:15:15）

（甲19の2／反訳： 12頁）

などと申し向け、本件建物の販売を妨害する明白な意図の下、あたかも本件建物に用いられているコンクリート強度に問題があるかのような虚偽の事実を告知し、偽計により原告の営業を妨害している。

また、これ以外にも、被告憲子は、同様の虚偽の事実の告知行為を度々行い、原告の販売活動に対する妨害行為に及んでいる。

これらの被告憲子の行為が不法行為に該することは明白である。

- (2) 被告憲子の不法行為により、原告の信用が毀損されたことによる無形の損害は、いかに少なく見積っても金500万円を下らない。
- (3) よって、原告は、被告憲子に対し、不法行為を原因とする損害賠償請求権に基づき、金500万円及びこれに対する不法行為の日である平成20年8月18日から支払済みまで民法所定の年5分の割合による遅延損害金の支払いを求める。

2 被告青木修に対する訴えの追加的変更の理由（前記第1. 2について）

(1)ア 平成21年2月7日、現地案内の営業職員が、顧客を伴って、本件建物敷地の南西側出入口付近から敷地外に出たところ、突然、被告修が近づいて来て、同営業職員及び顧客を畏怖させようとの意図の下、同人らに対し、カメラを向け、フラッシュを焚いて写真撮影をした。

イ 被告修の上記行為を受け、同顧客は非常に怯えている様子であったところ、翌平成21年2月8日、同顧客から原告に対し、妻が非常に怖がっているので購入を取り止める旨の連絡があり、原告は成約直前であった同顧客と成約に至らなかった。

(2)ア さらにその直後、後続の別の営業職員と別の顧客が上記出入口から出て、付近に停車していた自動車に乗ろうとしたところ、やはり同様に、突然、被告修が同顧客らに近づいて来て、同人らに対しカメラを向け、フラッシュを焚いて写真撮影をした。

イ モデルルームへ戻った後、同顧客は、「近隣のことが気になる。いきなり写真を撮られ気分が悪いし、住み始めた後に何をされるか分からず怖い。」

旨述べ、購入を取り止めることを伝えてきた。

- (3) 撮影対象者の承諾なく、いきなりその肖像の写真撮影を行うのは、対象者の肖像権を侵害する不法行為であること明白である。そして、同不法行為は、原告の営業行為（マンション販売行為）を妨害する意図の下になされたものであること明白であり、このような行為を行えば、原告の営業行為に対する妨害となることもまた明白であって、このような被告修の行為は、原告に対する不法行為を構成する。
- (4) 被告修の不法行為により、原告は、少なくとも信用が毀損されたことによる無形の損害を被っており、その損害は、いかに少なく見積っても金500万円を下らない。
- (5) よって、原告は、被告修に対し、不法行為を原因とする損害賠償請求権に基づき、金500万円及びこれに対する不法行為の日である平成21年2月7日から支払済みまで民法所定の年5分の割合による遅延損害金の支払いを求める。

以上

反訳文（甲 18 の 1 の CD の音声反訳）

■ 件名：工事現場前でのやりとりの聴取

【凡例】

（客）

○ 氏名不詳者：A

（近隣住民）

○ 青木 憲子：憲子

○ 遠藤 ミエ子：遠藤

○ 憲子：……そういうことがあって、（★00:00:08／一語不明）町に対して、お金を取らにや
いかんだろうって、（★00:00:12／一語不明）。もう、とにかくずっとそういうことが。

○ A：それは、あれですよ。そうですね。

○ 憲子：何、インターネットで見たの？

○ A：インターネットで見ました、主人が。（★00:00:30／一語不明）で降りて、ちょっと
歩いて行って。

○ 憲子：まあ、そんな感じ。

○ 遠藤：まあ、ゆっくり見ていくといいわ。

○ A：（笑）

○ 憲子：え、何？ まあ、そんなので、一応何か（★00:00:54／数語不明）される、身内
がいるの、わたしにも。身内がこうやって言うから、わたしは分からないですからね。も
う、わたしは、別にわたしの意見じゃなくて、弁護士さんに全部頼んであるから、弁護士
さんのほうに。分からないです、わたしはそんなのはね、興味ないんだから。あの人の（★
数語不明）。

○ A：ここって、もうぐるっと回れるんですかね。

○ 遠藤：入り口はもうここしかないのよ。

○A：ここだけしかないんですか、もう。

○遠藤：うん。

○憲子：ちょっと待っていて、またね。

○遠藤：一人で買うの？

○A：いえ。もう、そんな、そんな。主人が。主人はきょう仕事なので。わたしも仕事だったんですけど、早引けできたので、じゃ、ちょっとどんな所か見てくるよと言って、きょうは見にきたんですよ。

○遠藤：ああ、そう。

○憲子：でも、不便。利便性はないよ。

○遠藤：そうですよ。

○A：ここの場所ですか。

○遠藤：うん。だって、入り口ここだけですものね。

○憲子：向こう側にもあるんだけど、チャリじゃ出られないし、向こう側は（★市道）になっているんだけどね、それも乗り入れはいけないということになっているし。だから、どうかな。

○遠藤：ねえ。まあ、ここはご主人によくね……。

○A：ねえ。そうですね（笑）。

○遠藤：よく話をしたほうがいいのかもね。

○憲子：でも、でもまだネットで販売していないでしょう。

○A：ええ、そうですね。まだですね。

○憲子：そんなに、値段だって出てないじゃないですか。会社の方でしょう。

○A：あ、全然、全然、違います、違います（笑）。

○遠藤：ああ、そうなの？ うそじゃない、じゃあ。

○A：でも、本当だったら何ですか、モデルルームとかがありますよね。

○憲子：モデルルームあるけども、モデルルームは、普通のところはモデルルームに行くじゃないですか。そうすると、オプションでいいのを、全部付いているじゃないですか。

○A：はい。

○憲子：女性が見ると買いたくなるようなふうにしてあるじゃないですか。で、だいたいオプションだと500万上乘せじゃないですか。それもあつし。ここは、いいと……。これだけ反対されていたら、うまくは……。

それでネコも飼っていい、イヌも飼っていいとか何かペット。そうすると今度、住人同士のけんかってすごいじゃないですか。あの、エレベーターの中でふん尿されたりとか、くさくなる。そういうのを経験したことはございません？

○A：今も、でもマンションに住んでいるんですけど、一応犬が乗っていいエレベーターと、乗っちゃいけないエレベーターと一応は分かれているんですよ。

○憲子：一つしかないんですよ。

○遠藤：ここは、一つしかない。

○A：あ、そうでなんですか。

○遠藤：うん。

○A：今のところ、3基ぐらい付いて、4基、4基か、4基付いているんですよ。

○憲子：2基なんですよ。それで、あと……。

○A：でも、すごい大きいですね。

○憲子：ほら、あれが、立体駐車場が付くんですよ。4基入るんですよ。その管理費も全部、住人が負担じゃないですか。

○A：はい、そうですね、マンションてね。

○憲子：管理費というのもばかにならないところで掛かってきますよね。だから、わたしたちも今大きいんじゃない？ と言って、もうちょっと少なくしてくれないとって言うてはいるんですけど。そこから下がってきた所で、ここ、こっちもすごく多いんですよ。だから、非常に危ないんですよ。その道路も管理していない。

ここは通学する人もね、子供たちが多から。

○A：学校って？

○憲子：目の前ですよ。

○遠藤：目の前にあります。

○A：あ、こっち？

○憲子：ええ。こっちにあるんですけどね。

○遠藤：小さいお子さんいらっしゃる？

○A：いえ、いないです（笑）。

○遠藤：あ、いないの、そう。

○A：でも、やっぱり、もう買ったら、やっぱりいずれは。ふうん、直通がくれば行けるんだ。

○憲子：分からないけどね。

○遠藤：でも、ここを買う方たちは、本当にかわいそうだなと思うね、わたしたちはね。

○憲子：そうしたら、一生その管理費が。

○遠藤：一生ね、本当苦しむだろうなと思う。

○憲子：(★00:04:45／一語不明)もあるしね。分からないけど。

わたしたちは、今こうやって見張っていて、シャブコンだとか、

○A：シャブコン？

○遠藤：(★00:04:53／一語不明)が一番だよね。

○憲子：シャブコンって、雨の日のくい打ちだとか、みんな雨の日にやっていたりしているんで、それで、申し上げてはいるんですけども、その答えは返ってこないで、大丈夫だって言うんですよ。

○A：え、雨の日に？

○遠藤：コンクリを……。

○憲子：コンクリートを打ったりしているんですよ。

○遠藤：強度がね、もう、水を吸い込んじゃうわけでね。

○A：ああ。

○憲子：ただ、すぐ近くのコンクリートの教授がいらっしゃって、そういうのをやめろって言ったんだけどね、その答えが返ってこない、大丈夫だって言い張っているから、やっぱり問題が多々あるかなって感じで。分からないですけどね。

それで、西日が強いんですよ。そうすると結露がどうかなどは思うんですけどね。そういったのもあるし、風害が出るってもう確実なんです。

向こう側が、2メートルのバルコニーが付いているし、物を置いちゃいけないというのはご存じですよ。

○A：そうですね、普通いけないと言われますよね。

○憲子：だから、そういったのも、住民がちゃんとチェックすると思うんですよ。もう、本当に、もうこういう関係になっちゃっているから、厳しいと思いますよ。

○A：(★00:06:04／一語不明)かもっていうことですね。

○遠藤：でさ、環境だって決していい環境ではないでしょう。緑が多くてさ、とかっていうんじゃないもんね、住宅の中のご真ん中にどんと建っちゃって。

○憲子：景色はいいです。景色はいいと思いますよ。だけど、すぐ側が電車が通っていて、

だからそれも……。

○遠藤：(★00:06:24／一語不明) どういうことなのかなと思ってる間はね、ここのマンションをね。

○A：環境がいいかなと思って。

○憲子：環境はでも、これから、わたしたちは熱風を浴びなくちゃいけないですから、だから、まあ……。いいんですよ、お買いになっても、本当に。

○遠藤：そうそう。

○憲子：わたしたちは、ただ、その熱風に対して、お買いになった方に、わたしたちは反対に購入者に対して損害賠償請求訴訟を起こしますってやっていますから。

○遠藤：(★00:06:58／数語不明)。

○憲子：話し合えないんですもん。だから話し合ってくれないと、とは思うんですけどね。

○遠藤：大変だわね、ここを買うとなると大変だと思うわよ。一生に一度の買い物だもんね。

○憲子：本当よ、今マンションに(★00:07:19／一語不明) るんだったら、買い替えて、10年、10年でやってさ。

○A：賃貸で、あれ賃貸マンションなんですよ。

○遠藤：じゃ、なおさらやっぱりね、よく考えたほうがいい。

○憲子：でも、こういうマンションだと税金があるじゃないですか、下がらないですよ、ずっと。

○A：固定資産税？

○憲子：そうです。だからね。どれがいいのか分からないですけどね。

ただ、まあ、わたしたちも東京の方にマンションを持っていただけね、固定資産税が高いんでね、売っ払っちゃったのね。

○遠藤：ねえ、本当よね。みんな、管理費だとか何かなんてさ、マンションだとさ、定年になって収入がなくても払っていかなくちゃいけないもんね。

○憲子：そうなのよね。

○遠藤：その辺を考えたほうがいい。

○憲子：だから、本当に望むんだったら利便性だと思う。

○遠藤：うん、本当ね。それはあるね。マンションを選ぶのにはね。安いからこういうので飛びつかないほうがいいわね。安いというのは、どこかに何かあるのよね。だから安

いんだけどね。インターネットを見て買おうと思うの。

○A：え？

○遠藤：インターネットを見て、買おうと思うの？

○A：そうですね。まずは、インターネットでどういう物件があるかって調べて。

○遠藤：あるかって、ああ。

○A：で、ちょっと見てみて、あとは……。

○遠藤：それは何、それはインターネットで調べて、(★00:08:49/数語不明) あの、フー
ジャースだとか、やれ何だとかっていうのが出てくるの？ ぼんと。

○A：そうです。場所で、わたしは選んだんですけど。

○憲子：場所で選んだ。

○遠藤：そうなの。

○A：あとは、こうやって見にくいと分からないところってあると思うので、ちょっと
きょう見て、主人に伝えて、で……。

○憲子：いいんじゃない、だから。

○A：(笑)。

○遠藤：そうね。

○憲子：買うのは自由だし。

○遠藤：うん、そうだね。

○憲子：そうそう。だけどね、わたしなんか八丁堀の方にもう一つマンションがあるん
だけど、そこはもう利便性がいいです。

○A：今は貸しているんですか？

○憲子：息子たちが入っている。

○A：ああ、なるほど。

○憲子：本当にね、利便性から言ったら、そこなんだけど。

○遠藤：何か、いるよ、フージャースの人。

○A：あ、本当ですか、中に？

○遠藤：うん。見せてくださいって言ったら見せてくれるんじゃない、きっと、中に。

○憲子：そうだよな。

○遠藤：ねえ。

○憲子：いるよね、フージャースの人ね。

○遠藤：いるよね、うん。だって中を見てみなきゃね、外側じゃ分からないもんね。

○憲子：やっぱりね。

○A：ああ、でも、何かまだ、でも、どうなのでしょうね。

○憲子：いいじゃないですか、(★00:10:14／一語不明)でいるから。いいじゃないですか。

○遠藤：販売はもうすぐするけど、どうなるかね、もう、見させてもらおうね。

○憲子：いいじゃない。大丈夫でしょう。

○A：じゃ、こうやって回って見れるということはないんですね、もうそこからって言うことですよ。

○憲子：ないです。行かれないんですよ。

○遠藤：行かれない、(★00:10:35／一語不明)ね。

○A：そうか、そうか。

○憲子：だから、回ってみるといったら、向こう側から行ったら。

○A：入れる所がある？

○憲子：入れるというか、ほら、書いてあるけども。書いてあるけども、向こう側には出られずにね、ただし、シートがあったりなんかしてね。

○遠藤：ねえ。

○A：まあ、でもそこまで(笑)。

○遠藤：でも、その裏側は、あの(★00:10:58／一語不明)になっていますよ。

○A：あ、そうなんですか。

○遠藤：そうそう。

○憲子：さっきからあの方は行ったり来たりしているんです。会社の方じゃないの？

ねえ。新築マンションも、いっぱいその辺、売れ残っている所ありますよ。

○A：あ、こっちにも？

○憲子：うん。

○A：へえ。

○憲子：それこそ、駅のすぐ側に。

○遠藤：中古でね、よそに。

○憲子：新しいところで売れなくて、1年以上あれしているから安いんじゃないかな。レクセルが開いているしさ。

○遠藤：ああ、レクセルね、あれなら空いている。あそこはもう平坦な土地だからね。

もう、ここは、こんな坂だよ。

○憲子：ここを真っすぐ歩いて行って、右の方にずっと道沿いにずっと行くと、レクセルというのがあるね。

○遠藤：うん、そうだね。あそこはいいかもね。

○憲子：そこも、あそこはちょっと（★00:11:54／一語不明、カクイイ）のよ。

○遠藤：あ、そうなんだ。

○憲子：うん。で、反対運動やっていない。

○遠藤：ああ、ねえ、そうだね。かえて新築で1年ぐらいだったら中古になるからね、安くなるんだ。

○憲子：うん、新築。レクセルもかなり安いんだよね、あそこは。

○A：なるほどね。

○遠藤：いろんなところを見てみてね、買えばいいけど。こんなのだったら、ああ、きれいと思っちゃうよね。

○A：そうですね。

○憲子：いや、だってネットで出ているのはきれいだもん、（★00:12:27／一語不明）。

○遠藤：本当だね、びっくりしちゃったよね。あんなところないよね、本当にね。

○憲子：（★00:12:32／一語不明）だ。

ただ、ちょっと一つ疑問に思うのが、あの手作りの（★00:12:45／一語不明）のね、サトウさん書いているのね、手作りって書いてあるから、いや、マンションを造るのに工作なのかなって。何、手作りっていうのは。それが納得できない。分からないんですけど。1年前に書いたって言うんだけど、マンション建設に何で手作りが必要なのか分からないんです。でもね、いいですよ、誰が買ったって。

よく、いらっしゃいますよね、皆さんね。

○A：あ、見に？

○憲子：うん。

○遠藤：たまにね、見にくるね。きのうも男の人が来たかな、ですよ。

○憲子：まあ、下の方の人はみんな泣いています。事実です。（★00:13:37／一語不明、ヨッツウ）がかかって。もう（★00:13:40／一語不明、テイサツ）もしてくれないし、させてくれるか分からないですけどね。

○遠藤：でも、これだけ反対されているマンションって少ないかもね。こういうところは

出てないでしょう、ね。

○A：うーん。

○遠藤：まあ、これを見て判断していけばね。

○A：そうですね。あんまり、こうやって見にきたのってないので、どんな感じなのかっていうのも全然分からなくて来たんですけどね。

○憲子：いいんじゃないですか。

○遠藤：もうね。

○A：なるほど。

○遠藤：まだ、でも帰ってないよね。

○憲子：まだ帰ってこないのよ。

○遠藤：帰ってないね、そうだよ。

○憲子：残念、(★00:14:28／一語不明) きた。

○遠藤：さっきね。静かになってきたね。きょうは遅いね、でも母さんね。いつも、もうでも、5時か6時には帰ってくるのにね。(★00:14:43／一語不明、トマリ?) になるのが遅かったからか。

○憲子：(★00:14:54／数語不明)。

○遠藤：そう。(★00:14:57／数語不明)。

○憲子：いいじゃない。

○遠藤：(★00:15:17／一語不明) か (笑)。こうやってさ、こうやってここで見ているとね、こうやっておとなしく降りてくるのよ。見てないときは、ダーッ (★00:15:31／一語不明)。本当にたち悪いの、この人たち。

○憲子：(★00:15:37／数語不明)。

○遠藤：これ、足立ナンバーだもんね。

○憲子：でも本当、お母さん帰ってくるの遅いね。

○遠藤：ねえ。いつも早いのにね。

○憲子：何があったんだ？ (★オオツカ) 行ったの？

○人物 (男性 1)：え？

○憲子：(★オオツカ) の方？

○人物 (男性 1)：そう。

○A：じゃ、ありがとうございます。きょうは、ちょっとおとなしく帰ります (笑)。

○憲子：いやいや、中をちゃんと。

○遠藤：そうだよ。中をちゃんと見てから買ったほうがいいわよ。

○A：はい。ありがとうございました、いろいろ教えていただいて。すみません、失礼します。

○遠藤：はい。

甲 19 の 2 (甲 19 の 1 の C D の 音 声 反 訳)

■ 件名：工事現場前でのやりとりの聴取

【凡例】

(客)

○氏名不詳者：B

(近隣住民)

○青木憲子：憲子

○遠藤ミエ子：遠藤

○氏名不詳の近隣住民：Y

○人物（男性 4）：景色だよ。景色を返せるか、今すぐな、もう。きょう、いないな、フージャース。

○憲子：大成さんですか？

○B：あの、フージャースさんからマンションが（★00:00:21／数語不明）というので、（★00:00:25／数語不明）。

○憲子：そうですか。

○B：（★00:00:28／一語不明）？

○憲子：そうです。

○B：（★00:00:31／一語不明）？

○憲子：だって、ここに（★00:00:35／一語不明、14）、あと 5 階ここら辺にプラスされたら、町の人みんな光なくなっちゃいますよ。町というか、村の人たち。

○遠藤：こっちだって、本当に迷惑だよな。

○憲子：ねえ。

○遠藤：本当よね。

○人物（男性 4）：要らねえよね。

○遠藤：要らねえよね。要らねえって、ほら。

○Y：もうここ、工事現場にされているんだもんね。ばかやろうって言ってやんな。

○遠藤：ねえ。

○B：(笑)

○Y：気をつけなね。

○憲子：そう。

○B：そうなんですか。

○憲子：そうなんです。

○B：安くていい物件だということ。

○憲子：安くていい物件かもしれないけども、もし、わたしたちは(★00:01:00/数語不明)ですけれども、はっきり言って、ここで動物飼ったりなんか、ペットもいいとかおっしゃっているんですけども、でもわたしたちはそこから一步も出ないでほしいというのが願いです。

○B：マンションに入ったら、ということですか。

○憲子：はい、はい、はい。入った方は。

○遠藤：(★00:01:16/一語不明) そんなの売らないよって。

○Y：でもさ、おたくさ、マンション買うんだったらさ、なぜ、あのフージャースさんのところで聞かないの？

○B：今週オープンって言われたんですよ。で、その前にわたし、現地を見てよかったらということ。(★00:01:31/数語不明) こんなことになっているっていうのは、まったく聞いていなかったもので。

○Y：こんなことを言っていないでしょう。もう2年やっているんだよ、これ。

○憲子：じゃ、ネコを……。じゃあね、彼らはこういった黄色い旗、今度また裁判かけてくると思うんですけども、今までさんざん裁判かけてきて、今はっきり言ってわたしたち妨害も何もしていませんし、わたしたちの気持ちを訴えているだけであって、わたしたちは……。

また彼らはお金にものを言って、わたしたちのことを引っ込めよう、引っ込めようとしているけど、この道幅でしょう。

○B：はい。

○憲子：で、そこから出てくるんですよ。向こう側は出られないようになっているんですよ。

○B：僕も今見てきました。

○憲子：で、向こうは、もう、とにかくマンション住民の出入りは禁止ですから。

○B：もし、買ったとしたらここを、出入りにする道ですか。

○Y：ここだけ。

○憲子：ええ。で、出入りされたら、この辺、ここをこうやって出てこれたら危ないじゃないですか。

○B：この道は（★00:02:32／一語不明）というのも、わたし知らなかったんですけど。

○憲子：松井さんの、もうとにかくやりたい放題やっていますし。それで、わたしたちは何回も話し合いをもってほしいって言ったんですけど、とにかくフージャースっていう会社は……。

○Y：もう、やくざ集団だから、気をつけたほうがいいわよ。

○B：(笑)

○Y：だって、そうやって言われているんだよ、フージャースって。

○B：そうなんですか。

○Y：本当、本当。十何人来て、写真撮られて、訴えられているんだよ。

○憲子：で、それもね、わたしたちにやられたんですけど、運転手さんがたばこの灰、こうやって住人に投げたんです。それで、何やっているのよって警察を呼んで、それで警察が来ているのにもかかわらず……。

○遠藤：おんなじ車の方？

○B：いえ、違います。

○遠藤：違うの？

○B：わたしは歩いてきたんです。

○憲子：そういうことをやっている会社なんですよ。だから話し合えないし。船橋の実はこの近辺では「H」っていうの。フージャースの「H」ですよ。長谷工も「H」ですよ。

「H」はもう最悪だっていうのが、今全国展開で、マンション建設反対運動っていうか。

やっぱり住人の、ある程度飲み込んでくれたっていいじゃないですか。ここも、今の階数だったら、まあいいじゃないですかって言っているのに、いや、13階だってやっているの。

○B：今はあれ、何階ぐらいあるの？

○憲子：8階に、ただその上にあれを置いているんですよ、あの鉄筋を置いているんです。

それで、結局さびていると思って。そういうことを言っちゃいけないんですけど、さび

ていると思いますよ。それで、シャブコンもやっているんですよ。だから、それも。

○B：(★00:04:11／一語不明)、やばい。

○憲子：やばいと思うんだけどね。

○遠藤：ザーザー降りの雨の中をね、コンクリートをやっているんだもん。

○憲子：やっけてね。

○B：ああ。それは水が多くなっちゃいますよね。

○憲子：それで一応そういう……。そうでしょう。

○遠藤：多くなるでしょう。

○憲子：すぐそこに、あの鉄筋の、いわゆる、あの教授が要るんですよ、日大の教授が。その人が「やめなさい」って叫んだの。

○B：工事中にということですか？

○憲子：そうです。だから、そういう物件で。

○遠藤：そういう物件だね。

○憲子：だから、分からないけど。だって、ほかにいっぱい残っているところあるじゃないの、レクセルだって、駅から側。

○B：(笑)、だって全然……。

○遠藤：でもさ、あれだけ見ればさ、買おうと思って来たけど、普通だったらここを見て、あそこの上で、もう買えるよ、買おうと思ったら、思った人なら。

○B：いや、わたしもね、入ってきたときに、やたら、こう黄色い看板がいっぱいあるなとは思っていたんですけど、ここに来たらそれが何か、ありましたんで、何だろうと思って見ていたんですけど。

○憲子：お願いします。

○遠藤：お願いします。

○憲子：だから結局ね、風害もね、もうやってからね、途中でですよ。今やって風害出ると出ているんです。

○B：この建物ができたら、ということですか？

○憲子：できたら、13と高くすればするほど風害が出ますって業者が言っているんですよ、住民に。それでも。

○遠藤：だから、ほらね、ここにも書いてあるように、(★00:05:29／一語不明、所有者)に対して損害賠償請求あるかもしれないよね。わたしたちの誰かれからね。

○憲子：わたしたち、今まで裁判をかけられてきたんですね。かけられてきたんです、一方的に。

○遠藤：そう。

○憲子：でも、わたしたちはそれで反論というか、やらなかったのは、和解されるからやらなかったの。だから今度は反対に、こっちに対しては……。

○遠藤：住民の方ね。

○憲子：やるつもりでおりますから。

○B：ああ。

○遠藤：強い姿勢を持っているのよ、みんな。

○憲子：で、駐車場もね、形態率なんて分かります？ 形態率っていうのは、いわゆる何ていうんですか、これから問題になっていくであろうと思うんですけど、(★00:06:07/一語不明、ニケイ)ですよ。

○B：はいはい。

○憲子：で、形態率が普通、8パーセントで、もう限界だって言っているんだけど、ここ、(★00:06:13/数語不明)。あの、フージャースはとにかくうるさくてしょうがないから、いろんな人に声を掛けていますけども。

○B：1回、わたし、あの船橋の方で見にいったんですよ。で、今回この方で、そのとき買わなかったんですけど。

○遠藤：フージャースの？

○B：そうです、そうです。この……。

○憲子：あっち？

○B：うん。物件で。

○憲子：東じゃなくて、南なの。

○B：そうですね。船橋の方、市役所の近くで。

○憲子：市役所でしょう、(★00:06:44/一語不明、カイリン)でしょう。あそこはね、もう、こっちより早くから販売やっているんです。

○B：ああ、そうなんですか。

○憲子：それでも、あちはなぜか知らないけど、早いんだよね。でも、建たないんだよね。きっと、こっちの方だけ着実にやっていく……。

○B：工事を。

- 憲子：工事。だから、何だか分からないんですけどね。
- B：建物は平気じゃないですか。
- 遠藤：いや、平気だって言えないよね。わたしが怖くてしようがないもん、建物自体ね。
- 憲子：ここの建物？
- 遠藤：うん。怖くて、怖くて。
- 憲子：それでね、(★00:07:15／一語不明) さ、あそこに、あのエレベーター2基しかないんですよ。それで、あと非常階段が何かおかしいんだよね。
- Y：非常階段はね、エレベーターの真ん中にあるだけで、向こうの方にエレベーターない。
- 憲子：ないの。
- Y：非常階段ないです。
- 憲子：ないんだよ。
- Y：あそこは、まあ幅が(★00:07:33／数語不明)、それからね、これよ、ほら。
- B：これエレベーター？
- 憲子：そうそう。
- Y：これでしょ。そうそう。これ、エレベーター。これは両側、非常階段。で、向こうの方は何もないの。
- B：ああ、そうなんですか。
- Y：で、どうするの？ 火事になったらって言ったら「ああ、大丈夫です。ベランダからつたって降りてくる」って。ベランダから(★00:07:55／一語不明) って。
- 遠藤：モデルルームは行ったの？
- B：まだやっていないって言われて、でも普通は何か……。
- 遠藤：ああ、まだやってない。
- 憲子：土曜日に、20日だから金曜日、20日あたりにチラシが入ると思いますよ。
- 遠藤：ああ、そう。で、直接来たんだ。
- 憲子：それでね、この木だって植えられっこないんです。
- Y：ここ、植えられないよ。
- B：これはどこから見た……。
- 憲子：いや、合成写真じゃない。
- 遠藤：合成だよ。

○B：そうなんですか、じゃ。

○遠藤：うん。こんなの写ってない。ここはアパートね。

○B：向こう側から何か、景色なのかと思った。

○憲子：じゃない、じゃない、じゃない。

○遠藤：ううん、ここのなの。

○憲子：で、これもね、こんなことを言って、また住民が妨害しているって言われるのは嫌なんだ。ここ、車なんか止められるはずがないんだよね。

○B：ここはどこになるんですか？

○憲子：だから、下から上がった所。

○B：あ、ここになって。

○憲子：そこに車止めが付いているはずなの。ここは通過はできないから。

○Y：誰か来たよ。スズキがきょう、来ているっていうから。

○遠藤：スズキが来ているの。そう。だから、聞いてみればいいんだよ、施工主だから。

○憲子：それでね、施工主に……。だけど、これ、うそだよ。こんな緑なんてあるはずないんだから。わたしたちも、緑を植えてくれって言っているんだもん。

それで、下が全部ね、貯水槽と、それからあと雨水の。で、雨水のほうも、こっちへやらないでくれって言っているの。そこね、(★00:09:10／一語不明、カワチ)があるんですって。きのうなんか相当な雨が降って、ほら。

○遠藤：すごかったね、きのう。

○Y：これ全部、川になったよ、ここ。

○B：そんな、水はけは悪いんですか？

○Y：水はけ悪いなんてもんじゃないよね。(★00:09:24／数語不明)。

○遠藤：雨が降るとね、ここ、周りが何か。

○Y：だからうんと困っちゃうの。

○憲子：ここね、本下水じゃないんです。

○B：ああ、そうなんですか。

○遠藤：本下水じゃないの、ここ。

○Y：あなたたち、住んだ人がね、いずれはね、あそこ、(★ホンゲスイ)になったら。

○憲子：なったら。

○Y：全部、何十万だか、一人何千万だか分からない、みんなマンションだって。

○遠藤：浄化槽だよ、これ。

○B：そうなの、マンションのですか？

○憲子：浄化槽、そう。そんなの聞かされてないじゃん。

○遠藤：8個も入れたよね。

○憲子：8個入れたの。

○遠藤：ねえ、こんなの、つい立てを。

○憲子：それも結局住民が漂白剤を入れたら、何だっけ、バクテリア菌（★00:09:55／一語不明）。

○Y：死んじゃったらもうあれだよ、くさくなっちゃうよ。

○憲子：だから、そういったのをみんな、それを言わなきゃいけないはずなんだよね。

○遠藤：買う人に？

○憲子：うん。言わなきゃいけないんですよ。

○遠藤：ああ、そうか。

○憲子：でも、それを注意事項として言うのか、言わないのか、それは知らない。分からない。

○遠藤：言わないよね。

○憲子：だから、だからとにかくフージャースさんはうるさくて、うるさくていろんな人に声を掛けていると思うけども、でも、こういった何ていうの、係争。まあ、わたしたちは取り下げなんか、和解なんかは望んでいませんから、取り下げるに、取り下げられないんだと思う。

で、今度、この旗で、また裁判をかけてくると思うの。でも、わたしたちは……。

○Y：だってあれだよ。ここなんか、通勤するのどうやって、どこへ通勤しているの？

○B：わたしですか？ 都内です、東京の。

○Y：都内でしょう。

○遠藤：東京。

○憲子：違う、違う、そうそう。

○Y：ここなんかあれだよ、バスに乗れないよ。

○B：そうなんですか？

○憲子：朝。

○Y：みんな、通勤時間は通過だよ。だから25分かかるから。

○B：いっぱいということですか？

○憲子：いっぱい。

○Y：そう。25分かけて歩くの。あの距離じゃ大変だからバスに乗るといったら、そうね、早ければ40分かな。

○憲子：歩いたほうが（★00:10:54／数語不明）。ここ、新京成、着くじゃないですか。

○B：はい。

○憲子：新京成行くと、前原から乗っていくじゃないですか。そうすると今度、津田沼、隣が津田沼ですから、津田沼からまた……。

○Y：歩かなきゃ。

○憲子：直接じゃないんです。歩いて向こうに。

○B：そうですよね。路線が違いますもんね。

○憲子：うん。だから、わたしたち、意地悪して説明しているんじゃないで……。

○Y：かわいそうじゃん。

○憲子：そう。フージャースさんには……。

○B：まあ、でもそういう話を聞いてよかったです、来ておいて。

○Y：安い、安いといたって。安い、安いといたって、この間あれだよ、フージャースさんの、（★佐倉）のお兄ちゃん言っていたよ。もう全部さ、何？ これ。

○遠藤：オプションだもん。

○Y：オプションですよって言ったら……。

○遠藤：そう。

○Y：「え、ええ」なんて言っていたよね。

○遠藤：うん。

○Y：だから、3,000万でしょう、それ。

○遠藤：全部オプションなのよ。これから、その外側だけが幾らだか分からないけど、中は全部後買わなきゃいけないの。フローリングはどのレベルのフローリングにするとかね。畳はどういうふうにするとか。

○Y：4、500万掛かるでしょうって言ったら、「え、ええ」なんて。そうみたいですよ。何かおかしいことを言っていたんだ。

○遠藤：7、800万は掛かるな。

○B：ああ、そうなんですか。

○遠藤：うん。それだけでも。

○憲子：ねえ。いいものを見たかった。

○Y：(★00:11:57/数語不明)。

○遠藤：だんだんね。

○憲子：それであれば、今流行の2メートルのベランダだけど、そこには物を置きちゃいけないじゃないですか。それで、あと、立体式の駐車場じゃないですか。すると、あれも結局みんな管理費が。管理費は(★00:12:12/一語不明)にクエスチョンになっているけども、管理費が相当掛かるんじゃない。

ここ、それでこんな高くしたら、はっきりいって、この辺は風が強いので有名なんですよ。

○B：あ、そうなんですか。

○憲子：で、ここにいて、汗をふいていらっしゃるけれども、ここは潮風です、べたべたですね。

○B：海が近くにあるとか。

○憲子：海です、そうですよ。

○Y：自転車、1カ月置いたら赤さびだよ。

○憲子：自転車は……。

○B：そうなんですか。

○憲子：そう。

○B：え、南の方の海の潮風とか？

○Y：そうですよ、東京湾、東京湾。

○憲子：幕張、この上に上がればすぐ分かるけど。あそこがね、中学校があるじゃないですか。あそこから前は海がちゃんと見えました。だから、今はそれこそみんないろいろ建っちゃって見えなくなっているかもしれないけど、でも風はね、例えどんなビルがあってもくぐってきますからね。

○B：もう、でもこんな工事をしていたらあれですよ、そのまま進んじやうんですよ、工事は。

○憲子：進めるって言っているから、わたしたちは(★00:13:09/一語不明)さんに、市に入ってもらって、その対応策、だから……。

○B：何か、その建った場合に何かあるんですか、問題とか。

○憲子：問題？

○B：日当たりとか、問題があるんですか？

○Y：もう全然。だから、13階なんてとんでもないよ。(★00:13:24／一語不明) ない所に。

○遠藤：13階なんて日当たらないから。

○憲子：建っちゃったら風害だよ、確実に。

○Y：建っちゃったら。日照権はなくなるし、風害があるしで。

○遠藤：風害があるし、日焼けも、熱風も。

○憲子：風害って知っている？ あの赤いマークが付いたら最悪じゃないですか。赤いマークが付いているんです、ここ。

○B：風が強いんですか。

○憲子：強い、強い。で、高ければ高いほど風害が出るって言っているんです。

○B：そこで止まっちゃうから、横に風が逃げるからですか。

○憲子：逃げるから。

○Y：(★00:13:46／一語不明)。

○憲子：すると、その逃げ口が向こうに、(★00:13:48／一語不明) だから。この辺は「東風(こち)の風」って昔から言ったんですよ。いわゆる北東、北西の風が強いんです。だけど、南の場合はちょっとそこに4階の建物ができたら、お隣のうちが一面が、一面のガラス、あれ、壊れちゃいました。

だから、そうしたら何かそれを、フージャースのほうは(★00:14:13／一語不明、ニッショウ) しろって言っているの。だから、そういう会社なんです。わたしたちは、とにかく風害が、今ももう風害で洗濯物が干せなくなっているんですよ。

○遠藤：干せないもんね。

○憲子：だから……。

○遠藤：大事な財産だもんね。

○B：ねえ。高い買い物ですからね。

○憲子：だから安い、安かっていったって、2000何百万で、ローンを組んだら幾らになると思います？

○遠藤：100万や、200万じゃないもんね。倍以上になるからね、いまはね。

○憲子：でしょう。

○Y：だってさ、住民のことは考えない、こちらの住民のことも考えないんだから、入る住民のことは考えないの。

○遠藤：そう。

○Y：売ればいいんだもん。そんなこと、あの人たち考えていない。

○憲子：それはあるね。確かにね、若い子向きの、見掛けのいい建物だと思います。だから、売れると思いますよ。だけど、今度はこれなんですよ。

○B：建物自体、そんな本当はないですかね。

○憲子：建物自体？ 建物自体は……。

○遠藤：建物自体、問題あるよね。

○憲子：ねえ。

○遠藤：だって、シャブコンだもん。シャブコンだもん。

○B：シャブコンって何なんですか？

○遠藤：どうしたって、(★00:15:13/数語不明)よ。

○憲子：シャブコンって雨の日に、雨水(★00:15:15 一語不明)あるでしょう。鉄筋に、雨の日に鉄筋打ったら、それこそ、その入る雨量がシャブコンということは、何ていうのかな、要するに強度っていうの。

○遠藤：強度がね。

○B：何かいろいろニュースになったようなもので。

○憲子：そうそう。中の、その中身は知らないよ、わたしたちは。けども、一応雨の日にはちゃんと鉄筋を打っているっていうこと。それと、あと問題があるのは、その非常階段がないとか、それからあと分からないけど、そのとおり、そのとおりじゃないと思う。

○遠藤：ないと思う。

○憲子：見た目はきれいかもしれないけども、その(★00:16:00/数語不明)も、ここだと分からないように、点線で書いているんですよ。点線ですよ、ここ。ここに(★00:16:16/一語不明、キカイシキ?)のあれが入るんですよ。

○B：ああ、何か仕切っちゃうということ。

○憲子：そうすると6メートルしか開かないんですよ、前。

○B：これ。

○憲子：そうです。6メートルしか前、開かないんですよ。それで隣地があるんですよ。だから、まあ、いいんじゃない。隣の悲鳴を聞きながら生きて。だから、わたしたちは

「殺人鬼マンション」とか、中学生は「巻きぐそマンション」とか言っていますけど、いいんじゃないですか。

○Y：ばかだね、またこんな所に止めていった。こんなじゃ、(★00:16:49/数語不明) なんか、ここまでくるよね。誰だ、ここにやる人。

○遠藤：また(★00:16:53/一語不明)ね。

○憲子：で、側に新京成が通っているでしょう。

○B：はい。

○憲子：だから、まあ、あえてここを買わなくても、別にあっちも空いているし、もうかなり安い物件はいっぱいあると思う。

○B：そうですか。

○憲子：もう、かなり安い物件はいっぱいあると思う。

○B：そうなんですか。

○憲子：この辺、売れてない……。

○Y：(★00:17:09/数語不明) いっぱいあるから、ここに(★00:17:11/一語不明) じゃん、こっちも。

○B：そうなんですか。

○憲子：ねえ。だって、駅じゃないじゃん。デュオヒルズといたって駅。だってさ、前原公団の前原の方は、それこそ、あそこはもともとの……。

○Y：もう、(★00:17:22/一語不明、ギュギュウ) になっちゃうもんね。

○憲子：向こうがちゃんと、こう区画整理された所じゃないですか。

○B：津田沼の方は、こっちはもうわたし、初めてなんですよ、来るのは。

○憲子：だから、この辺はせいぜいできて、7階。

○遠藤：買うんだったら、あそこのほうがいいよ、前原公団のあそこのはねえ、あれはいいよ。

○憲子：それで、何かこの辺公団が一番最初にできた所なんですよ。だから前原公団もあるし、(★北側) もあるし、いっぱいあるんですよ。

○Y：(★00:17:49/一語不明)、水野晴郎さん住んでいて有名だったんじゃないかな？

○憲子：そう。前原はね。

○B：そうなんですか。

○Y：そこのマンション、公団に住んでいたから。壊すまで、取り壊すまで住んでいたか

ら有名だったんじゃない、前原にいるの。

○憲子：だから、あと問題があるっていったらね、まあ自分で見てって。

○Y：あそこの（★00:18:05／一語不明）。

○遠藤：そうそう。買うのはね、もうご自身だからね。

○憲子：そうそう。何とも言わない。

○B：(笑) 分からない……。

○遠藤：そう。いいと思ったら買えばいいし。

○B：見た目じゃ分からないこと、いっぱいありますからね。

○遠藤：そうそう。まあ、だいたいでもさ、普通の人には、これは見たらさ、あ、やめよっという気にはなるだろうね、たぶんね。

○B：(笑)、でもあれですよ、なかなかわたしなんかは、やっぱり物件は自分の目で見ないと嫌なんで、日当たりとかもあるから、だから見にいけますけど……。

○憲子：日当たりは、西日がすごいですよ、向こう側、西だから。

○B：ああ、そうなんですか。

○憲子：それで西日で、こっちが北側じゃないですか、だから結露もすごいんじゃないかなと、わたしは思います。

○遠藤：ここは結露はすごいよね。

○Y：そうだね。

○憲子：それでね、ああやってずっとネットを張ってあるから、（★00:18:43／数語不明）ガラス入っています。

○B：ガラス？

○憲子：うん。ガラス入っているから、乾燥はないんじゃない。

○B：乾燥？

○憲子：乾燥。だから建物が、結局こういうんじゃないくて、ちゃんとネットを張ってなかったら乾燥するじゃないですか。

○B：コンクリートが、はい。

○憲子：そうそう。それもないうちに、どんどん、どんどんガラスなんかを入れていくから、だから結露は出やすいでしょう。でも、壁面は張ってあると思いますよ。だから、それも全部ね。

○B：結露って水っていうあれですか？

- 遠藤：すぐ、さびね、さびの元よ。
- 憲子：結露ってさ、結露ってさ、マンションに住んだことないんだ。
- B：(笑)。
- 遠藤：ないの。
- Y：(★00:19:26／数語不明)。
- 遠藤：ジャージャー、ジャージャーお水みたいだよ、結露なんかはね。
- 憲子：結露が出ちゃうと、もう真っ黒、カビ。
- 遠藤：真っ黒、カビだらけになっちゃう、ぜーんぶ。
- B：部屋の中がということですか。
- 憲子：そう。
- 遠藤：全部、後側も、建物の後ろ側にぜーんぶカビが生える。
- 憲子：そう。だから、物を置けない。
- 遠藤：置けない。
- 憲子：確か、ここは物を置かないような設備にはなっているのよ。
- 遠藤：ああ、そうなんだ。
- 憲子：そう。ほとんどがクローゼットとかあるから。
- 遠藤：ああ、そうか。
- 憲子：それでもね、一応、ベットとか置くじゃないですか。
- 遠藤：置くよね、やっぱり、食器棚とかね。
- 憲子：だから、壁面もちゃんとそういったような、それをオプションにしたらすごい高いんじゃないですか。
- 遠藤：7、800万はいくんじゃない、たぶんね、最低でもね。
- 憲子：いくと思うけどね。それを知らないのか。
- 遠藤：そうするとさ、価格表を見るとやっぱり3,000万以上なの、ここの。
- 憲子：冬になるとね、ストーブをたくじゃない。そうすると窓ガラスが、まるでお水が走るようになってくるの。
- 遠藤：お水みたいにね。
- B：そういうふうになっちゃうんですか、ここは。
- 遠藤：なっちゃう。
- 憲子：だと思えますよ。マンションに住んだことがないんだと、分からないと思う。

○B：分からないですね。

○遠藤：そうかも。特にマンションは強い、密封性があるから。

○B：じゃ、どこのマンションでも？

○憲子：いや、そういうマンションじゃない。わたし、2カ所あるんですけども、新川って知っているでしょう、東京駅の新川。

○B：ああ、はい。

○憲子：あそこはそんなことない。一応……。

○遠藤：ないところは、ちゃんとやってあるもんね。

○憲子：古いから。古いからきちんと建ててあるから、結露なし。けども、わたし、もう1カ所は葛西にあったんですよ。葛西はそれこそ結露がひどくて（★00:20:59／一語不明、サワ）った。

○遠藤：ああ、そう。あそこも海っぺりだもんね。埋め立て地だもんね、葛西はね。

○憲子：そう、そうなの。だから、やっぱりその辺は選んだほうがいいと思う。

○B：そうですね。建物が一番大事ですもんね。

○遠藤：そうですね。10年で壊れちゃったなんていうんじゃね、泣いても泣ききれない、ローンが残っちゃうもんね。

○B：(笑) そうですね。そういうようなことはあり得るんですかね。

○憲子：あり得ますよ。

○遠藤：あり得るなんて分からないですよ。

○憲子：分からない。

○B：まあ、分からないです。

○遠藤：もしかしたら、50年もつかも分からないし、5年でつぶれるかも分からないし、こればかりはね。

○Y：こんなのは50年もつでしょう。中身がどうなるか知らないけど。

○憲子：でもね、分からないけど、どこか、はがれたら知らない。

○遠藤：だって手抜きなんて見せないもんね、全部囲っちゃってあるから。でも、買った人が泣くんだわね、もしそういうのがあったらね。住民が泣くじゃない。

○憲子：2基しかなくて、ペットを飼っていいんだってよ。

○B：エレベーターが。

○憲子：そう。エレベーターが。それで、うちのほうもね、最初はあれだったんですよ、

飼っちゃいけないって言ったんだけど、そのうちに飼ったんですよね、みんな分からないように。そうしたら、ペットがウンチをしたりするんですよ。におうんですよ。臭いのよ。

○遠藤：におうね。エレベーターの中でおっちゃんからね、臭いんだわ。

○憲子：そう。それで、その人は結局、お医者さんだったんだけど、出ていっちゃった。

○Y：何、温水式床暖房、魔法瓶浴槽、暖房付き、機能付き、浴室乾燥機、ウォシュレット、(★00:22:28／一語不明、ニジュウヨンノ) 大型給湯器。全戸に該当しない項目もありますって書いてあります。

○憲子：そう。そうやってみんな逃げるの。

○Y：そうよ。

○憲子：そう。

○Y：これ、津田沼でもらった？

○遠藤：だから、それに該当しないのは全部、オプションなのよ。後でくっつけてくださいと。

○憲子：よくない。

○遠藤：売りやすいからね、価格が安いとね。

○憲子：よくないって言っていたよ。

○遠藤：こっちも大変なのよ。

○憲子：だから。まあ、みんな自分で確かめて買いにすればいいんじゃない。

○遠藤：そうそうそうそう。フージャースさんに、だからよく聞いたほうがいいよ。

○B：確かめさせてくれるんですかね。

○憲子：わたしたちは駄目だって言うけども、買いに来た人はいいんじゃない。

○遠藤：(★00:23:04／一語不明) 買えばいいんだから。

○Y：でも、ここらの人とは誰も付き合いしないよ、きっと。ここも、(★00:23:09／一語不明) マンションと言っているもん。(★00:23:11／一語不明) のマンションだから、余計付き合い合わないよ。だって、まともなことをしてくれないだから、人間としてさ、血の通った説明ないでしょう。勝手にやっているんだもん。だから中身までね。

○遠藤：でも、わたしたちはね、別にこの建物がどうのこうのって言ってないもんね、それは。

○Y：そうよ。

○憲子：だけども、まあ、これから問題は起きてくるであろうというか、それはあると思

うよね。

○遠藤：起きる。それはあるよ、確実にある。

○憲子：そうしたら、向こうの人たちは、わたしたちにお金を、お金を配りたいらしいの。

○B：お金を配りたい？

○憲子：うん。でも、わたしたちはお金はみんな、要らないって言っているの。

○遠藤：要らない。金はなくても要らないって言っている。

○B：(笑) 何でお金を配るんですか。

○憲子：迷惑料。

○B：ああ、そういうことで。あまり騒がないでくれっていうか。

○遠藤：騒がないでくれってね。

○憲子：そう。それで、だから迷惑料を払いたくてしようがないみたいなんだけど、でもね、そういうのは別にいいし。

○遠藤：もう3時から行くんでしょ。

○Y：3時、だから2時に行かないと。

○遠藤：ああ。わたしも、じゃ、出ようか。

○Y：え？

○遠藤：わたし、出てあげようか。

○Y：わたしも、遊びにきたの。

○憲子：だから、ちょっと、これから……。

○B：よく、後で考えてみます (笑)。

○憲子：いやいや、考えなくたっていいんだけども、ただ、そういった問題点というのが出てきているから。それで立体式の駐車場で、ここへ出てきたときに左折されたら、すぐそこへ入っていく所があるんだけど、そこの道も狭いんです。

今度、上へ上がっていくと、あの296は中野木ってよく聞いていません？ 呼塚、千葉県のある有名な込む場所が、呼塚、中野木交差点、二つです。

○B：そうなんですか。その中野木の交差点が近いんですか？

○憲子：そこへ出ていくんです。

○B：ああ、そうなんですか。

○憲子：だけど、もう船橋市の場合は、マンションの乱開発で、みんなどこも空きだらけだっていうんだけども。

○B：ここも船橋市？

○憲子：船橋です。印西じゃないんだよ。

○B：(笑)

○憲子：それでね、みんな買ってから文句を言うらしいんだけども、でも買う前によく調べて。

○B：そうですね。

○憲子：買った人にも責任があるっていうか、と思うんですよ。

○B：そうですね。

○憲子：だから、やっぱりちゃんと研究して、何もかも全部(★00:25:27/一語不明)入っていますから。とにかく、わたしはよく分からないんですけども、住民と話し合っていないということが事実です。今……。

○遠藤：じゃあ、アオキさんいるから。

○Y：アオキさん、きょうは用事あるんでしょう？

○遠藤：アオキさんはきょう。

○憲子：誰？

○Y：用事あるんでしょう、きょう。

○憲子：わたし？

○遠藤：これから大丈夫？

○B：どうもすみません。どうもありがとうございました。

○遠藤：いえいえ、気をつけてね。

○B：はい。

○遠藤：はい。